

新花巻図書館整備検討状況について(案)

花巻市 生涯学習部
新花巻図書館計画室
2022.9.1 現在

I.	新花巻図書館整備の検討経過	4
II.	新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	5
III.	新花巻図書館整備基本計画試案	6
	基本方針、サービスの基本、サービスの種類	
	利用者の視点にそったサービスの種類、中央館の役割と機能	
	施設の規模、蔵書構成、運営コスト見込	
IV.	建設候補地の検討	15
	これまでの建設候補地の検討経過	
	花巻市議会 新花巻図書館整備特別委員会の提言	
	各候補地のデータ（まなび学園周辺、J R 花巻駅前周辺、特記事項）	
V.	試案検討会議における建設候補地に関する検討内容	26
VI.	試案検討会議における建設候補地に関する意見集約	27

I 新花巻図書館整備の検討経過

新花巻図書館整備基本構想（2017年に市民参画等を経て策定）をもとに、整備しようとする図書館の具体的な計画（新花巻図書館整備基本計画）を策定中

- 2017年 パブリックコメントや市民説明会を経て新しい図書館の「基本方針」などを定めた「**新花巻図書館整備基本構想**」策定（2017年8月公表）
- 2020年 市民の意見を取り入れるため、ワークショップ（高校生・20代編 延べ64人参加、一般編 延べ137人参加）や意見交換（12回実施 延べ192人参加）、オンラインでの説明会を実施
- 2021年 「**新花巻図書館整備基本計画試案**」を作成。専門的な立場で、これを検討する試案検討会議を設置
20年に引き続き、中高生・子育てサークル・その他市民団体等と意見交換を実施（12回開催 延べ175人参加）
- 2022年 前年度に引き続き、試案検討会議で試案内容を整理・検討中



20年 市民ワークショップ



21年 高校生との意見交換（花巻東高）



21年 障がい者支援団体との意見交換

Ⅱ 新花巻図書館整備基本計画試案検討会議

2021年に設置した試案検討会議では、新しい図書館に求められるサービスや機能について、具体的な検討を行い、意見を集約

開催日時	検討内容
第1回 (R3.4.26)	障がい者・高齢者を考慮、図書館の床面積、建物の材質、閉架書庫のあり方 等
第2回 (R3.5.25)	先人の顕彰、郷土・行政資料、中央図書館としての機能、電子書籍の導入、図書館司書の育成 等
第3回 (R3.6.28)	地域資料・古文書などのデジタル化、ボランティアとの連携、学校司書の配置、音楽・映像の配信等新しいメディア対応 等
第4回 (R3.7.27)	開館時間、電子図書・映像資料提供方法、貸出する資料の点数・期間、市内中高生の意見報告、県内図書館の視察報告 等
第5回 (R3.10.8)	図書管理システム、複写サービス、予約サービスについて、職員体制、市内の読書推進、運営、管理に関すること
第6回 (R3.11.12)	運営経費・司書配置・施設規模・空間計画
第7回 (R4.3.18)	修正・追記した試案の内容確認、意見の整理状況、ポータルサイトの紹介、オンライントークイベントの開催報告
第8回 (R4.4.28)	修正・追記した試案の内容を確認、試案に掲載するサービス・機能の内容確認、建設候補地の検討
第9回 (R4.6.9)	建設候補地の検討、各候補地の特記事項について確認
第10回 (R4.7.12)	建設候補地の検討、建設候補地事務局案の提案、建設候補地の市民説明会開催を提案
第11回 (R4.9.1)	建設候補地の市民説明会資料について意見交換

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 基本方針

本市は、宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした多くの先人を輩出しています。江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑(かくいんひ)」に記された人々は、自らの研鑽に精進し学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、そして後継者の育成に努力を重ねてきました。花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は私たちも次の世代に受け継いでいかなければなりません。

新しい花巻図書館の整備にあたっては、市民一人ひとりの生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の3つを基本方針とします。

※新花巻図書館整備基本計画試案より抜粋

◆ 郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館

花巻市は輝かしい功績を遺した数多くの先人を輩出しています。この先人達を顕彰し、次の時代を担う子ども達にその精神を継承し、郷土を愛する心を育むことができるよう、**郷土資料や先人の資料の充実**を図ります。

◆ すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館

幼児、子ども、高齢者、障がい者、**すべての市民が気軽に利用できるように、親しみやすく使いやすい施設**とします。自然や周辺に調和した明るくゆったりしたスペースとし、読書はもちろんのこと、くつろぎの場でもあり、交流の場ともなる施設とします。

◆ 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

これからの図書館は市民の読書や生涯学習を支援するだけでなく、情報を得る場、生活、仕事、教育、産業など各分野の課題解決を図る図書館であることが求められているため、**広い分野にわたる資料やレファレンス（相談・支援）機能の充実**を図ります。

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 サービスの基本

- ① 資料と情報の収集、それらの提供をサービスの基本
- ② 資料を通じて新しい情報やスキルを身に着ける・体験する・知識を得ること、その情報やスキル、体験し得た知識や成果を次の結果につなげることができるサービスを提供
- ③ 紙媒体と電子媒体を相互補完的に収蔵し提供
- ④ 中央館として市立図書館はじめ各図書館等を含めたサービス網の中核としての役割を強化
- ⑤ 子ども読書活動を支援。豊かな心を育てるため児童サービス。学校図書館と連携を拡充
- ⑥ 郷土資料や先人資料を充実。特に宮沢賢治に関する資料の収集と提供を強化
- ⑦ イーハートブ館や市立博物館、記念館等の資料の検索・閲覧・貸出サービスを検討
- ⑧ すべての市民が気軽に利用できる多様性に配慮。親しみやすく使いやすく、くつろぎの場・交流の場・市民の広場ともなる図書館
- ⑨ いつ来ても楽しく、利用を重ねることで「知的好奇心」を育む図書館
- ⑩ レファレンス（相談・支援）機能は、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つよう強化
- ⑪ インターネットによるサービスの提供、新しい技術の導入
- ⑫ 市政等に関する資料を収蔵し、行政に関する情報提供サービスを充実

※資料とは：図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁氣的方式その他の知覚 によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。（図書館法第3条1号）

1. 閲覧・貸出

- ① 生涯学習や読書活動、地域振興と産業創造に資する図書を集積し貸出
- ② 県内外図書館等と連携し、取り寄せて貸出
- ③ 貸出は、セルフサービス対応も行い、予約図書を受け取れるコーナーを設置
- ④ 移動図書館車による図書貸出サービス。新たに障がい者向けに図書を個別配送方法を準備
- ⑤ 市内各記念館等の貴重資料等は、電子資料で閲覧できるよう取組

2. レファレンス（相談・支援）

- ① 調査研究、課題解決のために資料や情報を提供。専用コーナー設置。電話や電子メール等による相談
- ② 職員を各種研修等へ派遣。専門的な分野の相談は、学芸員や関係公署と連携し対応
- ③ 未所蔵資料や図書は、他館と連携し紹介
- ④ 観光客等に対し、本市の観光、産業、歴史等の情報を提供

3. リクエストサービス

- ① 他の図書館と連携し相互貸借を活用するほか、必要に応じて購入し提供（リクエストサービス）
- ② リクエストサービスやアンケート等により利用者の求める資料を情報収集

4. 企画展やセミナー等開催

- ① 社会情勢や時宜にあった図書や資料を展示
- ② 講演会やセミナー等で、図書活動や生涯学習活動を支援
- ③ 学生や働き盛り世代等にも利用されるよう企画などに新たに取組

5. 学校図書館の支援

- ① 授業への図書活用を強化。読書支援や図書館見学などの受け入れ
- ② 学校との連携を強化。学校を担当する司書を配置
- ③ 学校図書館システムとのネットワーク化を各学校と協議。学校司書や学校図書館ボランティアと協力
- ④ 司書教諭等に対し、選書等の図書情報提供に取組む

6. 情報発信を強化

- ① 図書資料情報、展示企画や講演会、セミナーなどの情報発信強化
- ② 市広報や図書館だより等によるわかりやすい情報発信

7. 新たなシステムへの対応

- ① ホームページから資料検索や予約等が可能。予約資料の自動貸出など、新技術の導入
- ② 全館Wi-Fi環境を整備。電源コンセント。パソコンやタブレット貸出により、館内資料検索や情報検索できるよう取組
- ③ 古文書など地域資料のデジタル化による保存活用に新たに取組
- ④ システムは、将来的な変化や進展に柔軟に対応
- ⑤ 各記念館等の資料は、図書館で検索・閲覧・貸出サービスを行えるよう検討

1. 乳幼児・児童

- ① 長く読み継がれている評価の高い作品を中心に収集。利用頻度の高い資料を買替
- ② ブックリストを作成し配布。読書ボランティア等と連携し、保育所、幼稚園、学校や学童クラブなどで「お話し会」を開催
- ③ 図書館サービスを求める施設等と意見交換を行い、運営を支援
- ④ 関係所館と連携し、乳幼児期の読書の推進
- ⑤ 図書館司書に、児童サービス専門担当を新たに設け、児童サービスを提供

2. ティーンズ

- ① 読書・勉強・音楽・映像など10代の需要に合わせたサービスを新たに実施。多様な資料を収集
- ② 高校生や専門学生、大学生などの職業選択や進学に役立つ資料、地元企業の情報提供を強化
- ③ 図書館を通じて地元企業とのつながりができる機会の提供に取組
- ④ 若い世代のニーズを把握するため、新たに中高生や大学生など若い世代と意見交換を継続的に実施

3. 成人・社会人

- ① 仕事に役立つ資料や情報を提供。花巻市の産業や職業選択、資格取得に役立つサービスを充実
- ② 図書企画展示の内容は、「速報性」「おもしろさ」「わかりやすさ」を重視。企画展示によって図書館に訪れる機会を提供
- ③ 小説などの文芸書に加え、実用書や専門書などの暮らしと仕事に役立つ資料を収集

4. 高齢者

- ① 大きい活字の本や拡大読書器、大型レンズなどの機器を用意
- ② 機器操作の苦手な人も気軽に利用できるように配慮。運用時は操作をサポート
- ③ 音声・映像資料は、高齢者が興味を持つものを用意
- ④ 移動が不自由な高齢者の方々が本に接する機会を増やせるよう移動図書館車等を準備



現在の花巻図書館の閲覧席



南相馬市図書館 開架スペース



一関市図書館 開架スペース

5.障がいがある方

- ① 展示資料、大活字本、録音資料等の設置
- ② 対面朗読サービスや録音資料の聞き取りができるよう取組
- ③ スヌーズレン（感覚を刺激し心身の発達を促す）にも対応できる部屋を設置
- ④ 車いすでも図書館が利用できる書架・家具のフロア配置
- ⑤ 来館が困難で図書館サービスを受けられない人に対しては、宅配等により資料を届けるサービスを検討

6.子育て世代

- ① 妊産婦や乳児を育てる世代が、利用しやすい通路の広さや休憩場所を配置
- ② 書架や座席等の配置は、子育て世代の利用を考えた配置
- ③ 妊産婦や子育て世代のニーズを把握し、読み聞かせなどのサービスの提供

7.観光客・移住者

- ① 観光客も利用できるよう観光情報の収集。情報提供を強化
- ② 移住してきた方へ、必要な情報をわかりやすく提供

8.外国の方

- ① 国際交流協会と連携し、ニーズを把握、サービス・蔵書の購入の計画的な取組

9.行政機関

- ① 行政機関へ地方自治・行政関係のブックリスト及び関係雑誌の情報提供
- ② 行政機関への予約・リクエストサービスを強化し、定期的な資料配達を検討
- ③ 行政機関からの依頼に応じた行政・地方自治に関する調査支援



現花巻図書館こども室



久慈市図書館 児童コーナー



名取市図書館 閲覧席

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 中央館の役割と機能

- ① 図書館サービスを提供する施設計画を立案・実施
- ② 資料の総合管理（選択、発注、受入、整理、配分、保存計画策定）
- ③ 企画、総合調整、経理、広報、研修、施設管理等基幹的な事務
- ④ 学校図書館活動を支援、学校司書等と連携、資料選択の情報提供
- ⑤ 電算システムの管理・運営
- ⑥ 地区館等をつなぐ物流システムの整備と管理
- ⑦ 地区館が各地域の特色を活かした資料収集を行うため十分なスペースを確保できるよう、地区館の共同書庫としての機能



現在の花巻図書館



大迫図書館



石鳥谷図書館



東和図書館

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 施設の規模

1. 施設規模設定等の基礎資料

施設規模は、日本図書館協会図書館雑誌掲載統計「数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況2018」に記載されたデータにより床面積を想定

※「数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況2018」は、各人口段階の住民一人当たりの貸出資料数上位10%自治体の平均数値をまとめたもの

項目	人口段階（～8万人）	人口段階（～10万人）	計画案値
①図書館占有延床面積（㎡）	4,096.6㎡	5,074.3㎡	4,500㎡程度

※数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況2018より抜粋

※①住民一人当たりの貸出資料数上位10%自治体の図書館延床面積合計の平均

②現花巻図書館の蔵書数は、196,843冊であるが、計画案値としては、新花巻図書館が中央館としての役割を担うことを加味し、市全体を想定。

2. 施設規模設定等の基礎資料

区分	目安となる面積
(1) エントランススペース ①エントランス ②ラウンジスペース	200㎡程度
(2) 開架・閲覧スペース ①展示・情報コーナー ②案内・サービスカウンター ③資料検索コーナー ④レファレンスサービスカウンター ⑤新聞・雑誌閲覧スペース ⑥書架・閲覧スペース（一般） ⑦地域（郷土）資料・行政資料スペース ⑧視聴覚スペース ⑨子ども向け書架・閲覧スペース ⑩書架・閲覧スペース（ティーンズ）	2,200㎡程度
(3) 閉架書庫スペース	800㎡程度
(4) その他スペース ①学習スペース ②講座・集会・会議室 ③研究室・高齢者・障がい者へのサービス対応室 ④お話し（読み聞かせ）室、親子ふれあい室 ⑤多目的ギャラリー ⑥その他共用スペース	800㎡程度
(5) 図書館業務スペース ①事務室 ②地域・学校図書館サービススペース ③作業スペース ④その他	500㎡程度
計	4,500㎡程度

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 蔵書構成

- 現在の花巻市立図書館（4館）の総蔵書数は、453,330冊。新花巻図書館の蔵書数は他自治体の事例やアドバイザーの意見を参考に検討中
- 現在、現図書館からどの図書を引き継ぎ、どのような図書を購入していくか精査中
- パソコン等で貸出・閲覧ができる電子図書については、様々なサービスが開発されており、利用者の利便性を考慮し導入に向け検討
- 図書購入費については、電子図書等の状況や開館後の社会情勢等により減額する可能性も有

区分	蔵書数
花巻図書館	201,465
大迫図書館	51,186
石鳥谷図書館	125,916
東和図書館	74,763
計	453,330

花巻市立図書館要覧2021年度版より



多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、花巻市立図書館資料選定基準のほか、以下の点を考慮し幅広い分野の資料を収集

- 広い分野の収集
- 先人や郷土資料の収集・保存を拡充
- 視聴覚資料や電子資料の活用



現花巻図書館 2F 開架フロア



現花巻図書館 3F 郷土資料室



現花巻図書館 3F 新聞室

Ⅲ 新花巻図書館整備基本計画試案 運営コスト見込

- 新花巻図書館を整備するにあたり、開館後の運営に必要な事業費として、人件費と管理費、図書購入費の合計で年間約2億円という数字を試算。
- 試算にあたっては、令和2年度の花巻市立花巻図書館予算と新花巻図書館と同規模である一関市立一関図書館（平成30年度決算額）の光熱水費や委託料、図書購入費等を参考に試算

項目	試算額（千円）
①人件費	94,514
②消耗品費等	10,697
③光熱水費	12,000
④施設管理・システム	14,000
⑤機器借上料	16,103
⑥図書購入費	51,500
計	198,814

新花巻図書館運営費試算



新花巻図書館開館後の運営経費は、活用できる財源の確保に努め、これらを活用し予算化
将来的な人口減少等による経済情勢、市の財政状況、図書館の利用状況により、固定費以外
については減額する可能性有

IV 建設候補地の検討 これまでの建設候補地の検討経過

「新花巻図書館整備基本構想 3 新花巻図書館の整備方針 (3)建設場所に関する方針」より

(1)図書館としての利便性の確保

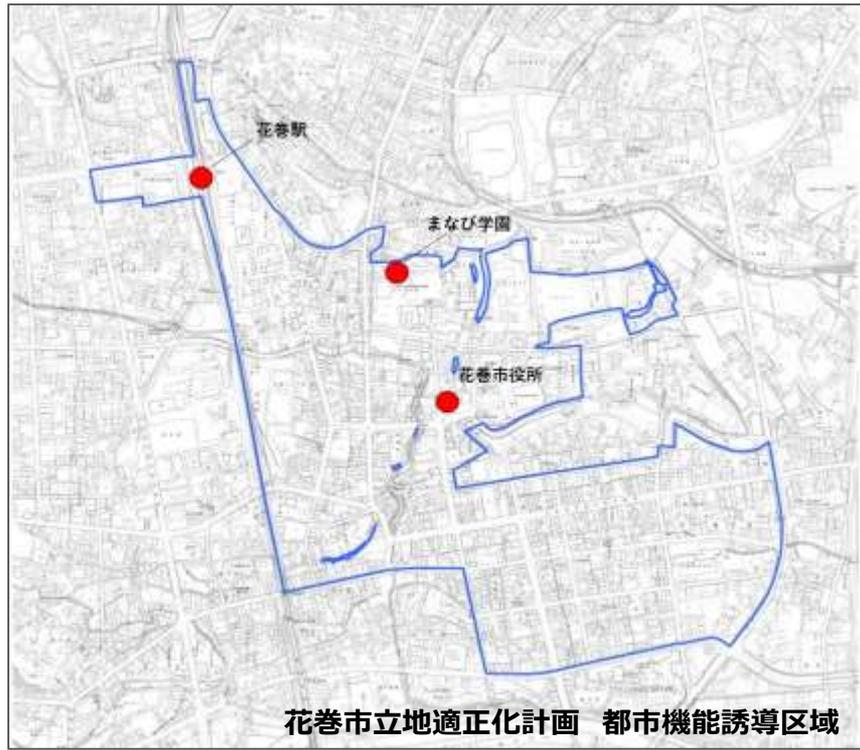
- 交通アクセスが良くわかりやすい場所
- 市全域から行きやすい場所
- 十分な駐車場が確保できる場所

(2)市街地再生に資する施設

- **立地適正化計画**に定める**都市機能誘導区域内**に整備
- 近接施設との連携や他施設との複合化など民間との連携も含めて検討



候補地を数か所選定した上で基本計画において場所を定める



立地適正化計画とは

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡した他の計画の上位に位置付けられる総合的な計画

都市機能誘導区域とは

都市再生を図るため、医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設などの都市機能増進施設立地を誘導すべき区域として立地適正化計画で定められる区域

新図書館を都市機能誘導区域内に整備する場合、都市構造再編集中支援事業として、国から総事業費の1/2の補助金を見込む。なお、国が定める省エネ水準を満たす場合、補助額は、総事業費の上限30億円の1/2補助となる

1.新花巻図書館整備特別委員会（2020年3月～12月）

- ① 特別委員会を8回、小委員会を13回開催
- ② 市内4か所で意見交換会と参加者アンケートを実施
- ③ 検討結果を市へ提言

2.提言内容

①建設場所について

新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針に基づき、都市機能誘導区域内へ整備することとし、市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと。
なお、決定に当たってはその経過及び理由を明確にし、市民の理解が得られるように努めること。

②建設用地について

建設用地は市有地とすること。
借地に建設することにより、将来にわたる財務負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けるべきであること。

③複合施設について

図書館単独での整備を基本とすること。
新花巻図書館整備基本構想に盛り込まれた市民のくつろぎと交流スペースとして、飲食コーナーは図書館に必要な機能の一つとして位置づけ、整備を検討されたいこと。

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) JR花巻駅からの距離

約720m、約11分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17:09、右回り10本 最終17:06

イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

C) 駐車場

病院跡地に273台整備

図書館分200台増

(ただし距離に課題、B案右図：近接に12台確保)

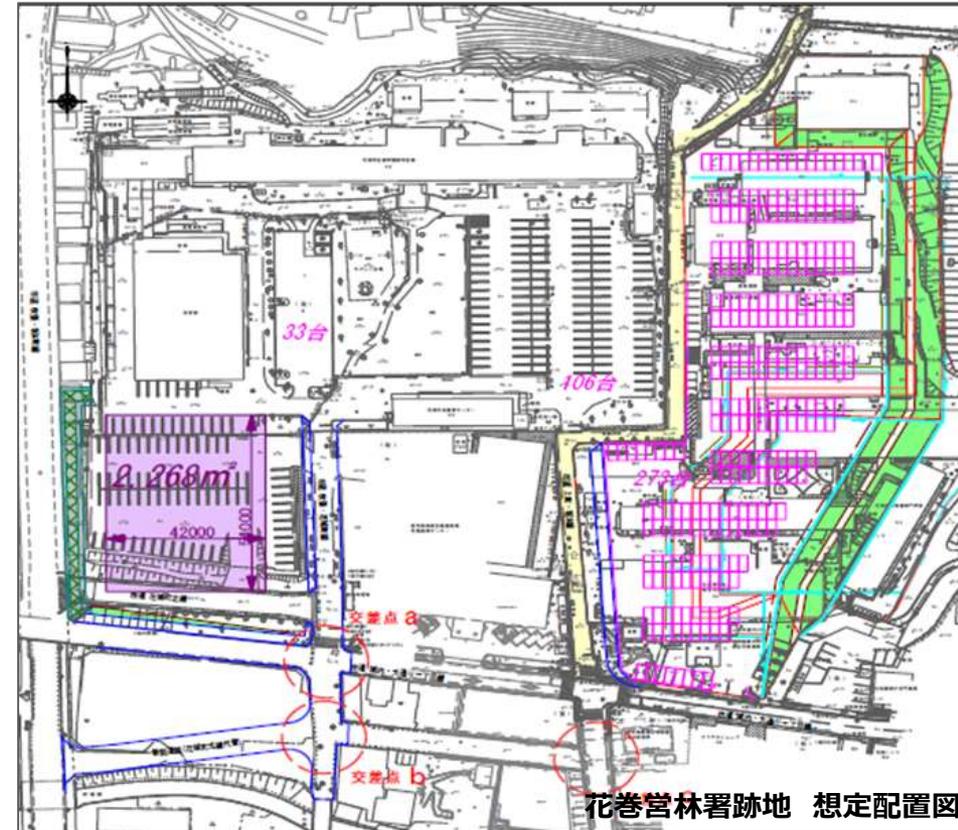
②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人



(2)その他特記事項

①総合花巻病院解体工事関係

- 解体工事中
- 土地売買交渉

②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅
- 市道吹張花城町線（並木）拡幅

- 西側南側への擁壁整備が必要
- 近接駐車場を整備した場合（B案）は道路の切り替えを想定。交差点の複雑化

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) JR花巻駅からの距離

約770m、約11.5分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17:09、右回り10本 最終17:06

イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

C) 駐車場

病院跡地に273台整備

図書館分162台増

(ただし、今のまなび学園利用者にとって遠くなる)

②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人



(2)その他特記事項

①総合花巻病院解体工事関係

- 解体工事中
- 土地売買交渉

②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅
- 市道吹張花城町線（並木）拡幅

③まなび学園の土地利用

- まなび学園建物は今後25年程度の利用を見込む

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

- A) JR花巻駅からの距離
約740m、約11分（徒歩4km/1時間）
- B) 最寄りバス停や周辺道路環境
 - ア) バス停
市街地循環バス 花城町
左回り10本 最終17：09、右回り10本 最終17：06
 - イ) 周辺道路環境
市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線
市道吹張花城町線 等

- C) 駐車場
病院跡地に273台整備
図書館分197台増

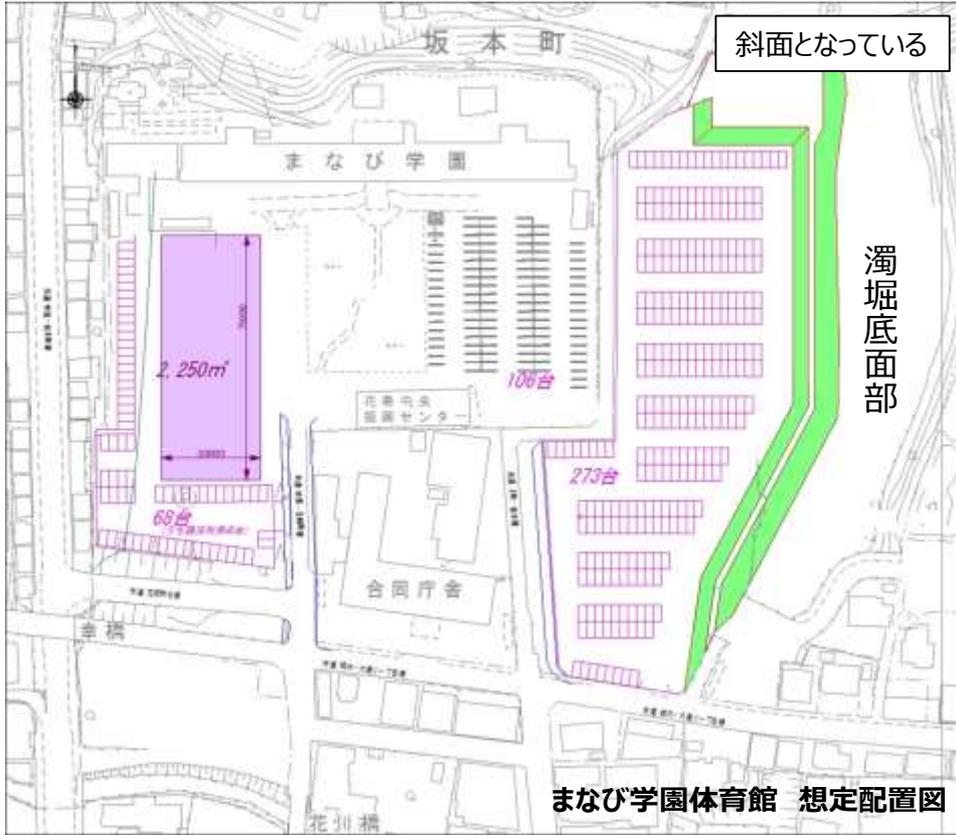
②図書館としての利便性の確保

- D) 都市機能誘導区域内
- E) 近接施設の利用者数等
まなび学園年間利用者数
R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人

(2)その他特記事項

- ①総合花巻病院解体工事関係
 - 解体工事中
 - 土地売買交渉
- ②周辺道路関係
 - 都市計画道路計画
 - 市道城内大通り一丁目線の拡幅
 - 市道吹張花城町線（並木）拡幅

- ③まなび学園体育館との関係
 - 体育館は利用率が高く解体する場合は、代替施設の建設が必要
体育館利用者数 R1:919件（2.9件/日）
利用者数19,858人（63.44人/日）
 - まなび学園建物と同様25年程度の利用を見込む



(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) JR花巻駅からの距離

約770m、約11.5分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17:09、右回り10本 最終17:06

イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線
市道吹張花城町線 等

C) 駐車場

病院跡地に152台整備
図書館分152台増

②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人



(2)その他特記事項

①総合花巻病院解体工事関係

- 解体工事中
- 土地売買交渉

②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅

③埋蔵文化財保護について

- 駐車場跡地は、花巻城跡濁御堀内
- 濁御堀底面部（下部）の緑地化などを検討

IV 建設候補地の検討 2. J R 花巻駅周辺

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) J R 花巻駅からの距離

約30m、約1分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停 平日13路線（上り92便、下り89便）

イ) 周辺道路環境 県道花巻和賀線

C) 駐車場 253台

新規：立体駐車場（2F）を整備 171台

新規：図書館前平面駐車場を整備 22台

既存：なはんプラザ東側市営駐車場 60台

→現状の平面駐車場が181台（①+②）のため
72台増

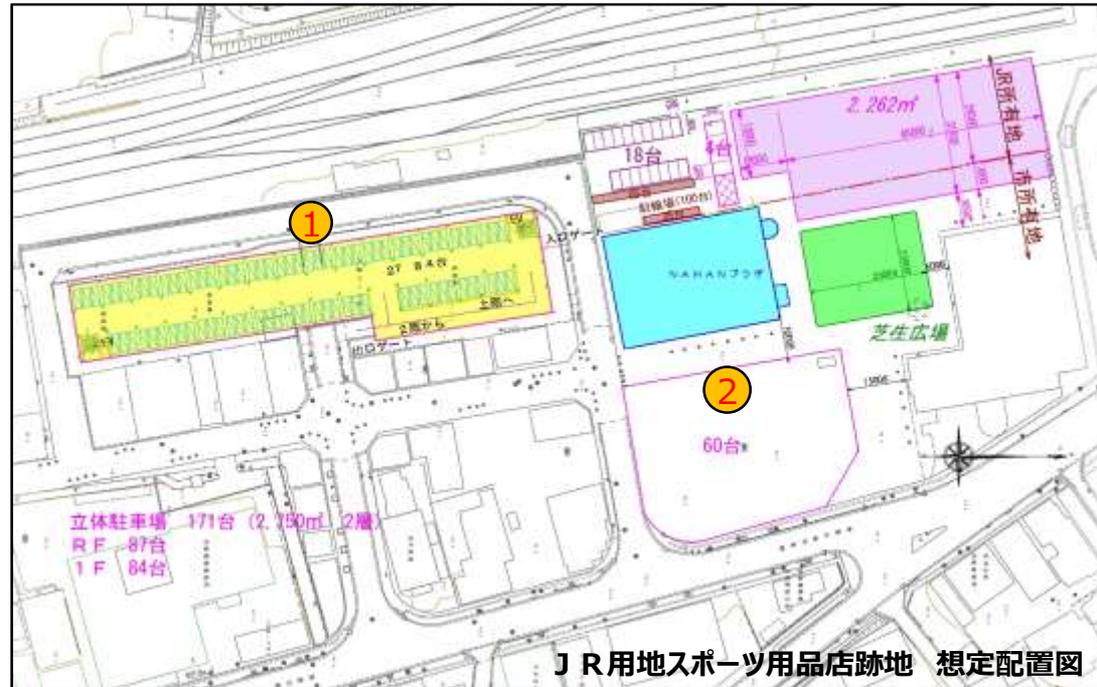
②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

J R 花巻駅 乗者人数/1日 R2:3,269人、R3:2,847人

[東北本線] 上り30便、下り35便、[釜石線] 上り11便、下り10便



(2)その他特記事項

①用地関係

- J R 用地スポーツ用品店敷地への建設は、当該用地の買収について J R との協議のうえ合意が必要
- スポーツ用品店解体費用の負担を求められる可能性有

②駐車場

- ①駐車場の立体化が必要
- J R 敷地内に高齢者や障がい者向けの平面駐車場を確保することを検討

③橋上化・東西自由通路との関係

- 図書館の整備と J R 花巻駅橋上化（東西自由通路）整備は、それぞれ別のもの
- J R 花巻駅橋上化整備とは別にスポーツ用品店敷地の買収について J R との合意が必要

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) J R 花巻駅からの距離

約30m、約1分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停

平日13路線（上り92便、下り89便）

イ) 周辺道路環境

県道花巻和賀線

C) 駐車場

立体駐車場 4F（1Fは幅広だと）305台
現況より124台増（現況が181台のため）

②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

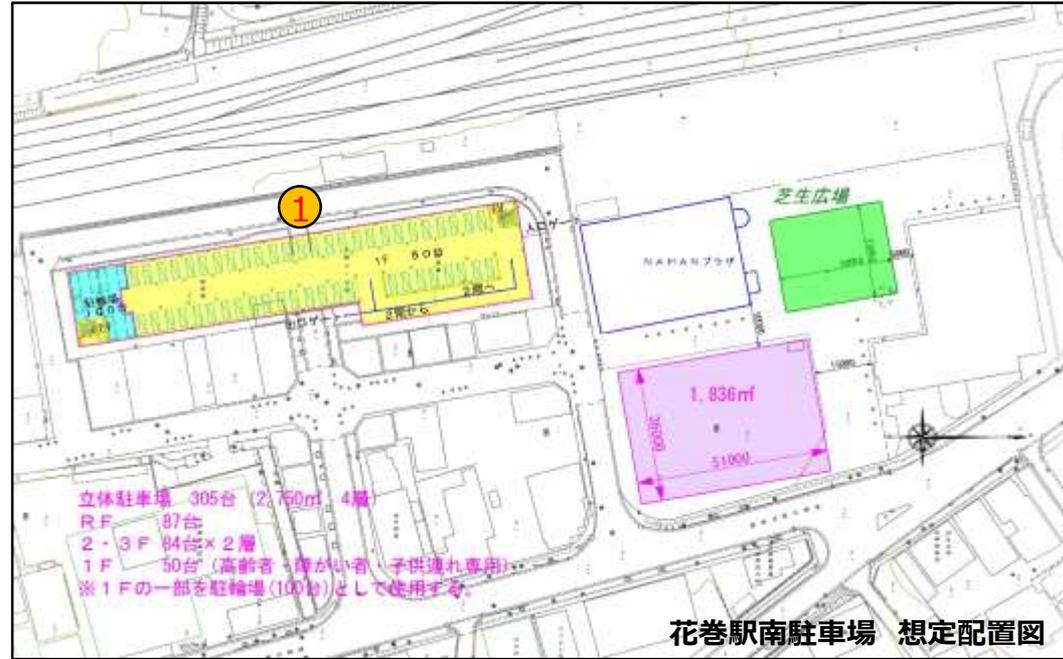
E) 近接施設の利用者数等

J R 花巻駅

乗者人数/1日 R2:3,269人、R3:2,8471人

東北本線 上り30便、下り35便

釜石線 上り11便、下り10便



花巻駅南駐車場 想定配置図

(2)その他特記事項

①用地関係

- 敷地面積が少なく、3階建ての建物

②駐車場

- ①駐車場の立体化が必要（近接駐車スペースの設置も困難）
- 駅近接の駐車場がなくなる
- ホテル利用による駐車場利用者の利便性が低下

IV 建設候補地の検討 3.特記事項 まなび学園周辺 総合花巻病院跡地に関すること

(1)総合花巻病院の建物・施設の解体、人工地盤に関する状況

工事の概要

A) 工事場所

花巻市花城町4番28号

B) 工事対象面積

18,348.86㎡

C) 工事スケジュール

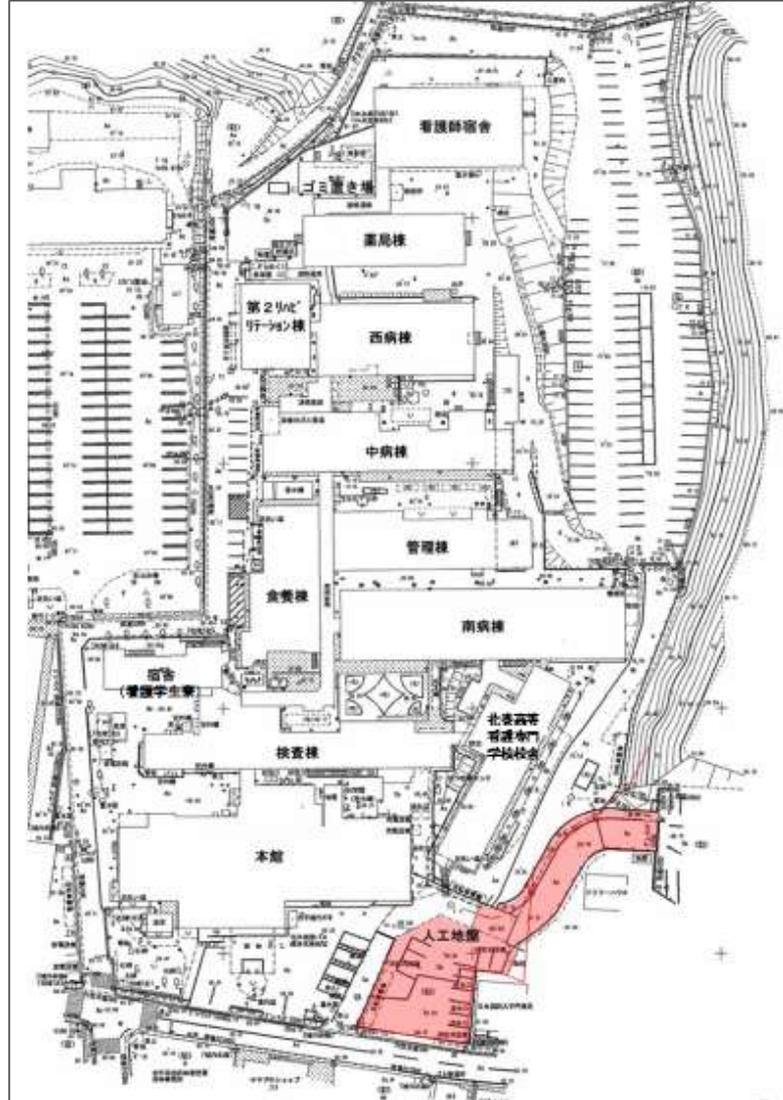
令和3年12月1日～令和5年3月末日

D) 土地の売買

建物・施設解体後、花巻市と公益財団法人総合花巻病院双方が不動産鑑定評価を実施し、当該評価を基準として協議の上、決定

E) 人工地盤の取扱い

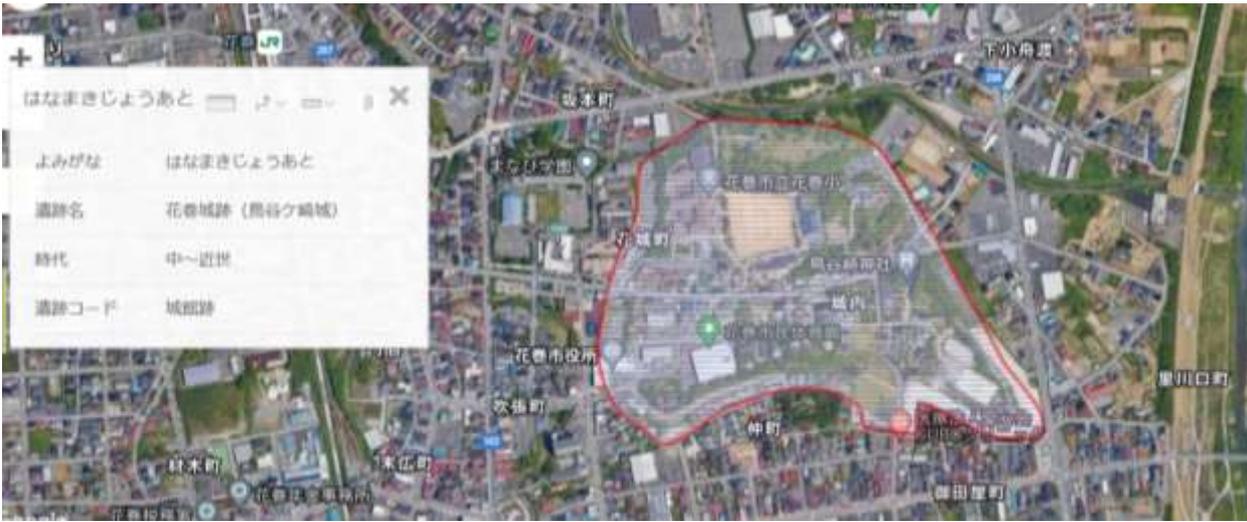
敷地南東部（図面赤印）にある駐車場・車路
現段階では解体せず、3年後を目途に解体の上、市に譲渡
価格は、双方の不動産鑑定に基づき協議し決定
解体前でも図書館建設は可能と見込まれる



令和3年10月25日 花巻市議会議員説明会資料転載

(2)市指定史跡 花巻城跡

- 総合花巻病院駐車場跡は、岩手県遺跡台帳に登録される花巻城跡の範囲で「濁御堀」
- 花巻市教育委員会は、平成27年より花巻城跡調査保存検討委員会を設置し、調査保存の在り方を検討中
- 保存活用については、「濁御堀」底面部（下部）の緑地化などの可能性を検討



IV 建設候補地の検討 3.特記事項 まなび学園周辺 市道整備に関すること

- 市道城内大通一丁目線(赤線)は、歩道が無く危険であるため、早期に歩行者の安全確保対策が必要
- 当面は現道の歩道整備で対応。将来的には都市計画道路（黄色）の整備の可能性

①現道への歩道整備

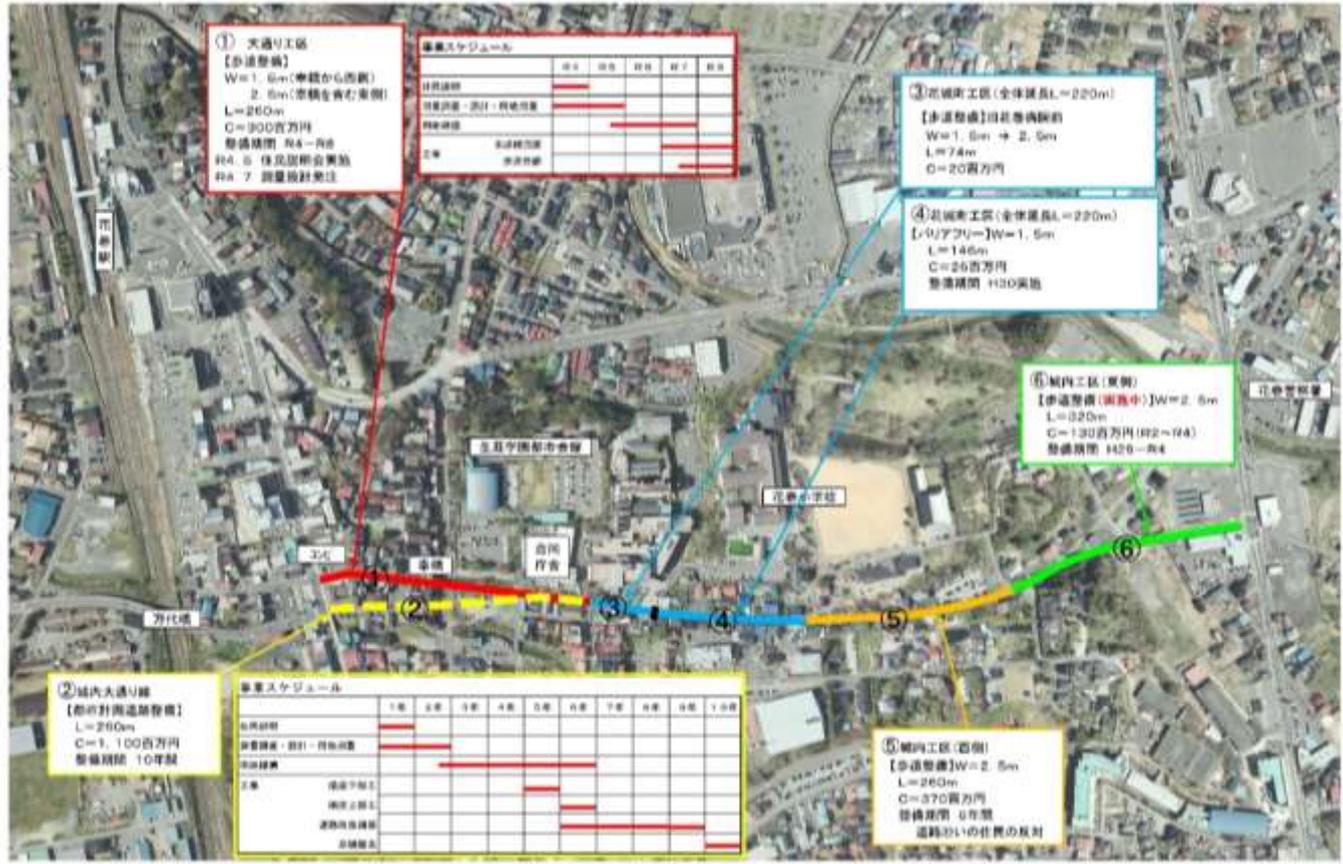
赤線：大通りコンビニエンスストア交差点から幸橋を通り合同庁舎への道路

- 大通り工区は、幸橋から西側1.5m、幸橋から東側2.5mで歩道整備を実施。今年度は説明会、測量設計を実施

②都市計画道路の整備

黄線：万代橋から合同庁舎への直線道路

- 新しい橋梁建設や交差点改良など大規模な工事となり、事業費も膨大で事業期間も長期間
- 都市計画道路と現城内大通一丁目線に高低差が生じ、道路北側住民の都市計画道路への乗り入れが不便
- 道路整備に周辺住民の理解と協力(建物移転12件)が必要
- 現時点で直ちに城内工区側(青・橙線)の住民合意を行うことが難しい



V 試案検討会議における建設候補地に関する検討内容

1. 検討会議における委員の意見（抜粋） ※詳細別途一覧表参照

まなび学園周辺
旧総合花巻病院跡地

委員 A 広い駐車場が確保できる。年配者や子ども連れ、特に障がいのある方々は立体駐車場では不安、不便と意見もある。自然に囲まれた図書館にできる。賢治の作品に出てくる草木を植えれば、子どもは開放的な自然が広がる場であれば安心して図書館に入る。駅前には全ての市民が利用しやすい場とは言えない。駅は交通の拠点で三町地域をはじめ郊外からも来やすく、高校生やビジネス人、高齢者、子供など全ての市民が最も利用しやすい場所か。まなび学園は駅から離れている、道路が狭いと言われるが、そもそも、駅を基準に考える必要があるのか。賢治の里の図書館として、自然が一つも感じられない駅前ではなく、賢治との縁の深い所、花巻病院跡地こそふさわしいと思う。

どちらかという
まなび学園

委員 B どちらにも一長一短がある、自分が小中学生でどんな環境の図書館が良かったか思った時、鳥が飛び周りに緑があるところがいいと感じる。どちらかといった時に、何となくまなび周辺のほうが、将来的な発展があるかは別として、落ち着いた雰囲気为本が読まれるかなと感じた。

J R 花巻駅前
スポーツ用品敷地

委員 C 中学校や高校が西側にも多く、駅を中心に活動している方も多い。広い世代の方々が駅を中心に西口にも活動の拠点を持たれ、徒歩で駅に近いところで図書館を利用できればかなり活気のある駅前になるのではないと思う。

委員 D まなび学園の将来的な構想を持ったときに、この周辺は、このまま置いておいたほうがいいのではないか。

委員 E 高齢者の立場からすると交通機関が利用できる。西口も有効に活用し駐車場も整備し橋上ルートも通して活性化していけば有効ではないか。

委員 F 今まで図書館に足を運べなかった通勤者や駅を利用する若者たちが気軽に立ち寄れるメリットが大変大きいと思う。

委員 G 中学、高校生が図書館を利用しやすい所に設置するのが一番いいのではないか。免許返納などで、車を使えない状態になった時を考えると、駅から歩いて、まなびの図書館まで行くのは、しんどいかなと思う。駅に降りてすぐにあって、そしてまた駅から列車に乗って帰って来るほうが楽かなと思う。

どちらかという
J R 花巻駅前

委員 H 第一希望は、JR花巻駅周辺が（会員）の6、7割ぐらい。高校生とか学生とか観光客の方が使いやすい。花巻市外からの利用者や情報が集まりやすいのではないか。駅前にはちょっと土地が狭いが、花巻のまちづくりに図書館が十分関与できると考える。

委員 I どちらでも良さがあり課題はある。利用者アンケートを見ると、10代が6%、60代以上が半数以上である。なぜ10代は少ないのかを考えた時に、車を持たない10代の高校生や若者、もっと小さい人たちは、やはり交通の便がいいところだともっと利用してくれるという期待が持てる。図書館をもっと多くの人に利用してほしいと考えたときに、やはり交通の利便性が高いということは大きな要素になるのではないと思う。

その他

委員 J 皆さんが集える場所として図書館が楽しめるというか、いろんな方が来て「よかったな、楽しかったな」と言える場所であってほしい。

委員 K 駅前もまなび学園周辺も一長一短がある。駅前につくると当然学生の利用者数が莫大に増えると思う。駅前にできたとき、やっぱり狭苦しいものになるのではという危惧はある。どちらも行きづらいと感じるので、アプローチも含めて考えないといけない。イトーヨーカドー側から入れるような建物でもいい。

委員 L 駅前は賑わいをつくりたいとか、スポーツ用品店の前の広場みたいに都会的なエリアをつくりたいのかなと感じる。まなび学園周辺に作れば緑地が多くつくれるような、緑がそして広々とした憩いの場としてつくりたいのだと思う。図書館が何を狙ってつくられるものなのかが大きく出てくるのではないか。

VI 試案検討会議における建設候補地に関する意見集約

①委員の意見を「試案検討会議における建設候補地選定に係る意見一覧」として整理

- 検討会議では「旧総合花巻病院跡地」と「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」の2つの意見に集約
- その中でも「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」を希望するまたはどちらかという希望するとの意見が多数
- 委員全体の共通した意見は「新しい図書館は多くの人に利用して欲しい」というもの



②第一候補地として「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」についてJR東日本との土地買収の具体的交渉

- 今まで図書館を利用できなかった通勤者や若者、学生や生徒の利用が期待できる
- 自家用車を使えない高齢者等も公共交通機関を利用できる
- 広い世代の方々が図書館を利用できれば活気ある駅前が期待できる



③市民等を対象にした説明会を開催し市民の意見を集約

スポーツ用品店敷地の土地取得、JR東日本と具体的な交渉を行うことについて意見集約を図る